



デバイス ファームウェアの管理

- [デバイス ファームウェアのアップデートの概要 \(1 ページ\)](#)
- [デバイス パックまたは個々のファームウェアのインストール \(2 ページ\)](#)
- [システムからの未使用のファームウェアの削除 \(4 ページ\)](#)
- [電話モデルのデフォルト ファームウェアの設定 \(5 ページ\)](#)
- [電話機のファームウェア ロードの設定 \(6 ページ\)](#)
- [ロードサーバの使用 \(6 ページ\)](#)
- [デフォルト以外のファームウェア ロードを使用するデバイスの検索 \(7 ページ\)](#)

デバイス ファームウェアのアップデートの概要

デバイスロードとは、IP Phone、Telepresence Systems、および Cisco Unified Communications Manager でプロビジョニングおよび登録されているその他のデバイスを対象としたソフトウェアおよびファームウェアのことです。Cisco Unified Communications Manager はインストールまたはアップグレード時に、Cisco Unified Communications Manager の該当するバージョンがリリースされた時期に基づいて、利用可能な最新のロードをインクルードします。シスコでは、新しい機能やソフトウェアフィックスを導入するために更新されたファームウェアを定期的にリリースしています。したがって、新しいロードをインクルードした Cisco Unified Communications Manager アップグレードを待たずに、電話機を新しいロードに更新することができます。

エンドポイントをソフトウェアの新しいバージョンにアップグレードするには、エンドポイントがアクセス可能な場所に新しいロードに必要なファイルがダウンロード可能になっていなければなりません。最も一般的な場所は、Cisco TFTP サービスがアクティブにされている、「TFTP サーバ」と呼ばれる Cisco UCM ノードです。一部の電話機は、「ロードサーバ」と呼ばれる別のダウンロード場所もサポートしています。

任意のサーバ上の tftp ディレクトリ内にあるファイルのリストを取得したり、それらのファイルを表示またはダウンロードしたりするには、CLI コマンドの `file list tftp` (tftp ディレクトリ内のファイルを一覧表示する場合)、`file view tftp` (ファイルを表示する場合)、`file get tftp` (tftp ディレクトリ内のファイルのコピーを取得する場合) を使用します。詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions*』を参照してください。また、Web ブラウザで URL 「`http://<tftp_server>:6970/<filename>`」 にアクセスして、任意の TFTP ファイルをダウンロードすることもできます。



ヒント 新しいロードをシステム全体のデフォルトとして設定する前に、単一のデバイスに新規ロードを適用することもできます。この手法は、テスト目的で役立ちます。ただし、該当するタイプのその他すべてのデバイスは、新しいロードでシステム全体のデフォルトを更新するまでは、古いロードを使用することに注意してください。

デバイス パックまたは個々のファームウェアのインストール

デバイスパッケージをインストールして、新しい電話タイプを導入し、複数の電話モデルのファームウェアをアップグレードします。

- 既存のデバイスの個々のファームウェアは次のオプションでインストールまたはアップグレードできます。Cisco Options Package (COP) ファイル: COP ファイルには、ファームウェアファイルとデータベース アップデートが含まれています。このためパブリッシュャにインストールすると、ファームウェアファイルがインストールされ、さらにデフォルトのファームウェアが更新されます。
- ファームウェアファイルのみ: zip ファイルで提供されます。zip ファイルに含まれている個々のデバイス ファームウェア ファイルは手動で解凍し、TFTP サーバの適切なディレクトリにおよびアップロードする必要があります。



(注) COP またはファームウェアファイルパッケージに固有のインストール手順については、README ファイルを参照してください。

手順

- Step 1** Cisco Unified OS の管理から、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] > [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] の順に選択します。
- Step 2** ソフトウェアの場所セクションに適切な値を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。
- Step 3** [使用可能なソフトウェア (Available Software)] ドロップダウンリストで、デバイス パッケージ ファイルを選択して、[次へ (Next)] をクリックします。
- Step 4** MD5 の値が正しいことを確認し、[次へ (Next)] をクリックします。
- Step 5** 警告ボックスで、正しいファームウェアを選択したことを確認し、[インストール (Install)] をクリックします。
- Step 6** 成功メッセージを受信したことを確認します。

(注) クラスタを再起動している場合は、ステップ 8 に進みます。

- Step 7** サービスを実行しているすべてのノードで [Cisco TFTP] サービスを再起動します。
- Step 8** 新しいロードにデバイスをアップグレードするには、影響を受けたデバイスをリセットします。
- Step 9** Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスのデフォルト (Device Defaults)] の順に選択し、新しいロードに (特定のデバイスに対して) ロードファイルの名前を手動で変更します。
- Step 10** [保存 (Save)] をクリックし、デバイスをリセットします。
- Step 11** すべてのクラスタ ノードで **Cisco Tomcat** サービスを再起動します。
- Step 12** 次のいずれかを実行します。
 - 11.5(1)SU4 以下、12.0(1)、または 12.0(1)SU1 を実行している場合は、クラスタを再起動します。
 - 11.5(1)SU5 以上での 11.5(x) リリース、12.0(1)SU2 以上での任意のリリースを実行している場合は、パブリッシャ ノード上で **Cisco CallManager** サービスを再起動します。ただし、サブスクリバノードでのみ **Cisco CallManager** サービスを実行している場合は、このタスクをスキップできます。

ファームウェアのインストールの潜在的な問題

デバイス パックのインストール後に発生する可能性があるいくつかの潜在的な問題を次に示します。

問題	原因/解決
新しいデバイスが登録されません	<p>これはデバイス タイプの不一致により発生する可能性があります。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスが [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、不適切なデバイス タイプを使用して追加されました。たとえば、Cisco DX80 が Cisco TelePresence DX80 ではなく電話タイプとして選択されました。適切なデバイス タイプを使用して、デバイスを再設定します。 • Cisco CallManager サービスが新しいデバイス タイプを認識しません。この場合、パブリッシャ ノード上で Cisco CallManager サービスを再起動します。
エンドポイントが新しいファームウェアにアップグレードしません	<p>考えられる理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイス パックが TFTP サーバにインストールされていません。その結果、ファームウェアは電話機でダウンロードできません。 • Cisco TFTP サービスは、インストール後に再起動されなかったため、新しいファイルについて認識しません。必ず TFTP サーバにデバイス パックをインストールします。

問題	原因/解決
Cisco Unified CM Administration の [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、新しいデバイスタイプのアイコンイメージがあるはずの場所に、破損したリンクが表示されます。	CLI からすべてのノードで Cisco Tomcat サービスを再起動します。

システムからの未使用のファームウェアの削除

[デバイスロード管理 (Device Load Management)] ウィンドウでは、システムから未使用のファームウェア (デバイスロード) および関連するファイルを削除して、ディスク容量を増やすことができます。たとえば、アップグレード前に未使用のロードを削除して、ディスク容量の不足が原因でアップグレードが失敗しないようにすることができます。ファームウェアファイルの中には、[デバイスロード管理 (Device Load Management)] ウィンドウにリストされない依存ファイルを持っているものがあります。ファームウェアを削除すると、依存ファイルも削除されます。ただし、その依存ファイルが他のファームウェアに関連付けられている場合は削除されません。



(注) クラスタ内の各サーバで、個別に未使用のファームウェアを削除する必要があります。

始める前に



注意 未使用のファームウェアを削除する前に、適切なロードを削除していることを確認します。削除されたロードは、クラスタ全体の DRS 復元を実行しないと復元できません。ファームウェアを削除する前にバックアップすることを推奨します。

複数のファイルのロードを使用するデバイスのファイルを削除しないようにしてください。たとえば、特定の CE エンドポイントは複数のロードを使用します。ただし、[デバイスロード管理 (Device Load Management)] ウィンドウで [使用中 (In Use)] として参照されるロードは1つだけです。

手順

Step 1 [Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified OS Administration)] から、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] > [デバイスロード管理 (Device Load Management)] の順に選択します。

- Step 2** 検索条件を指定して、[検索 (Find)] をクリックします。
- Step 3** 削除するデバイス ロードを選択します。 必要な場合は、複数のロードを選択できます。
- Step 4** [選択されたロードの削除 (Delete Selected Loads)] をクリックします。
- Step 5** **OK** をクリックします。

電話モデルのデフォルト ファームウェアの設定

この手順を使用して、特定の電話モデルにデフォルトのファームウェアロードを設定します。新しい電話が登録されると、Cisco Unified Communications Manager は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでデフォルトを上書きするファームウェア ロードが指定されていないかぎり、デフォルトのファームウェアを電話に送信しようとします。



- (注) 個々の電話については、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [電話ロード名 (Phone Load Name)] フィールドの設定により、その特定の電話のデフォルトファームウェアロードが上書きされます。

始める前に

ファームウェアが TFTP サーバにロードされていることを確認します。

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスのデフォルト (Device Defaults)] を選択します。 [デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウが表示され、Cisco Unified Communications Manager がサポートする様々な電話モデルのデフォルトファームウェアロードが示されます。 ファームウェアは [ロード情報 (Load Information)] 列に表示されます。
- Step 2** [デバイス タイプ (Device Type)] で、デフォルト ファームウェアを割り当てる電話モデルを指定します。
- Step 3** 横にある [ロード情報 (Load Information)] フィールドに、ファームウェア ロードを入力します。
- Step 4** (任意) [デバイス プール (Device Pool)] にデフォルトのデバイス プールを入力し、[電話テンプレート (Phone Template)] に該当する電話モデルのデフォルトの電話テンプレートを入力します。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。

電話機のファームウェア ロードの設定

この手順を使用して、特定の電話にファームウェア ロードを割り当てます。[デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウに指定されているデフォルトとは異なるファームウェア ロードを使用する場合に、この手順を実行します。



- (注) 多数の電話に 1 つのバージョンを割り当てる場合は、一括管理ツールを使用し、CSV ファイルまたはクエリを使用して、[電話ロード名 (Phone Load Name)] フィールドを設定できます。詳細については、『*Bulk Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- Step 2** [検索 (Find)] をクリックし、個別の電話を選択します。
- Step 3** [電話ロード名 (Phone Load Name)] フィールドに、ファームウェアの名前を入力します。この電話では、ここで指定したファームウェア ロードによって、[デバイスのデフォルト設定 (Device Defaults Configuration)] ウィンドウで指定されているデフォルトのファームウェア ロードが上書きされます。
- Step 4** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 6** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックして、変更したフィールドを電話にプッシュします。

ロード サーバの使用

電話が TFTP サーバ以外のサーバからファームウェアの更新をダウンロードするようにするには、電話の [電話の設定 (Phone Configuration)] ページで「ロードサーバ」を設定できます。ロードサーバには、別の Cisco Unified Communications Manager またはサードパーティのサーバを指定できます。サードパーティのサーバは、電話が TCP ポート 6970 で HTTP を使用して (推奨)、または UDP ベースの TFTP プロトコルを使用して要求するすべてのファイルを提供する必要があります。DX ファミリの Cisco TelePresence デバイスなどの一部の電話モデルでは、ファームウェアのアップデートで HTTP のみをサポートしています。



- (注) 多数の電話に1つのロードサーバを割り当てる場合は、一括管理ツールを使用し、CSVファイルまたはクエリを使用して、[ロードサーバ (Load Server)] フィールドを設定できます。詳細については、『*Bulk Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- Step 2** [検索 (Find)] をクリックし、個別の電話を選択します。
- Step 3** [ロードサーバ (Load Server)] フィールドに、別のサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- Step 4** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
- Step 5** [保存] をクリックします。
- Step 6** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックして、変更したフィールドを電話にプッシュします。

デフォルト以外のファームウェア ロードを使用するデバイスの検索

Unified Communications Manager ページの [ファームウェアロード情報(Firmware Load Information)] ウィンドウを使用すると、デバイスタイプにデフォルトのファームウェアロードを使用しないデバイスを、すばやく特定することができます。



- (注) 各デバイスには、デフォルトを上書きするファームウェア ロードを個別に割り当てることができます。

デフォルトのファームウェア ロードを使用しないデバイスを特定する手順は、次のとおりです。

手順

- Step 1** [デバイス(Device)] > [デバイスの設定(Device Settings)] > [ファームウェアロード情報(Firmware Load Information)] を選択します。

ページが更新され、ファームウェア ロードを必要とするデバイス タイプのリストが表示されます。デバイス タイプごとに、[デフォルトロードを使用していないデバイス(Device Not Using Default Load)] 列が、デフォルト以外のロードを使用するデバイスの設定値にリンクします。

Step 2 デフォルト以外のデバイスロードを使用する特定のデバイスタイプのデバイスのリストを表示するには、[デフォルトロードを使用していないデバイス(Device Not Using Default Load)] 列で、そのデバイス タイプのエントリをクリックします。

デフォルトのファームウェア ロードを実行していない、特定のデバイスタイプのデバイスがリストされたウィンドウが開きます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。